記者発表資料

令和７年６月２５日
北上川下流河川事務所

大雨に備え「流量観測講習会」を実施します

北上川下流河川事務所では、毎年流量観測を実施しており、これからの大雨に備え、迅速かつ確実な観測を実施するため現地で講習会を実施いたします。

また、当日は最新の流量観測方法を紹介する予定ですので、この機会に是非、ご覧いただければと思います。

（参考）
国土交通省では、水資源の管理や河川環境の保全、洪水や渇水の予測や対策など、河川行政における様々な政策立案の基礎資料として、流域に降った雨量や河川の水位・流量を長年継続して測定調査しております。
特に台風など大雨の洪水時に実施する『流量観測』は、洪水の発生状況やその規模を把握しデータを蓄積し、今後の洪水の発生頻度や規模を予測することで、河川改修計画の検討、堤防やダムなどの防災インフラの設計や改修に役立てることができます。

１．講習日時：令和７年６月２７日（金）１０：００～１２：００
※当日の気象等の状況により中止となる場合があります。

２．講習会場：北上川河川敷（登米市東和町米谷元町　県道 398 号米谷大橋）
※詳細は別添地図をご覧ください。

３．講習内容：

１）　１０：００　流量観測の目的や方法（説明）
①目的及び種類　②方法の概説　③注意事項
２）　１０：３０　流量観測の実務（演習）
①浮子(ふし)投入練習 ②各見通杭での時間計測練習
③非接触型画像解析手法の説明
３）　１１：５０　質疑応答
４）　１２：００　解散

◆取材について
取材受付は、１０時から１２時の間に随時お受けいたします。

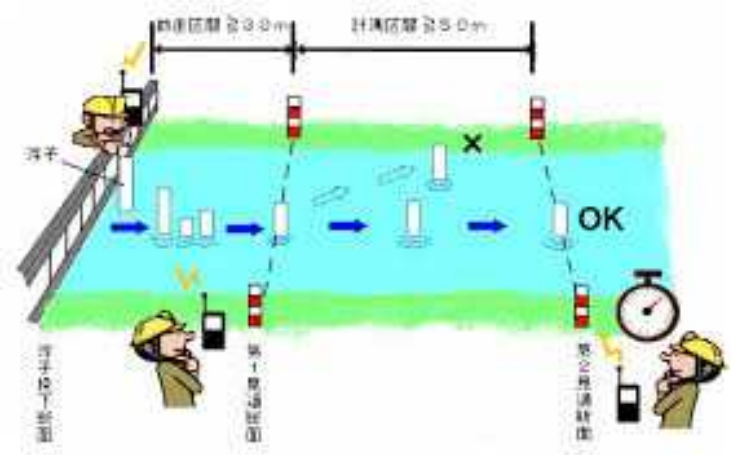
記者発表先　：　石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
〒986-0861　石巻市蛇田字新下沼８０　TEL 0225-94-9854（直通）
技術副所長　間山（まやま）　隆之（たかゆき）（ 内線２０６ ）
防災情報課　建設専門官　及川（おいかわ）　加奈（かな）（ 内線５０５ ）

流量観測とは

国土交通省
北上川下流河川事務所

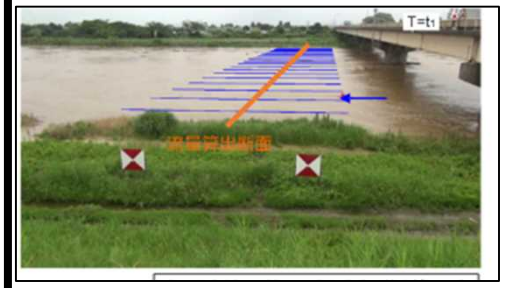
洪水時の流量観測（高水流量観測）



洪水時の流量を観測するために行われるもので、上の図のとおり橋の上から浮きとなる物体（浮子（ふし）と呼びます）を投下し、これを一定距離の区間を通過する時間を計ることにより、流速を求め、川の断面積と掛け流量を求めます。

洪水時の天気は、大雨や暴風となっていることから、周辺道路や土地の浸水、作業員の安全優先などにより、観測が出来ない場合もあることから今後の人口減少・高齢化に対応も勘案し観測の無人化・自動化が求められています。

最新の流量観測方法（画像解析手法）



水面観察用カメラで取得した画像



最新の流量観測手法の一つとして紹介予定の方法です。
これは『非接触型』と呼ばれており、水面観測用カメラにて川の水面を撮影し、水面に映る波等の波紋が移動する状況を解析し、移動速度を算出することで流速を求める技術です。カメラには遠赤外線や高感度などもあり夜間を含む２４時間の無人観測が可能となります。

流量観測講習会の会場

国土交通省
北上川下流河川事務所

北上川河川敷（登米市東和町米谷元町　県道398号米谷大橋付近）

